

# 第5学年 社会科学学習指導案

活動日 平成14年2月16日  
 授業者 北折 佳美  
 活動場所 5年3組教室(校舎4階東)

1. 単元名 わたしたちの生活と情報 小単元名 「放送局で働く人々」(全8時間)

## 2. 単元について

情報は、様々な産業の働きを高め、人々の豊かな生活を実現させるために大いに役立つものである。児童の日常生活とも関わりが深いテレビ放送を例に取り上げ、そこで働く人々の様子から、情報の送り手としての工夫や努力をつかませたい。そして、その働く人々の工夫や努力により、自分達の生活の中で情報を役立てることができることを気付かせたい。

これまでの農業、工業などの産業学習を通して、消費者のために、生産者がどんな工夫や努力をしているのかを考えてきた。そのため、調べたことから、それが何のためにそうなっているのかという社会的現象の意味を追求する力がついてきつつある。

そこで、本単元では、私達が情報をどのように得て、役立てているのかを話し合い、情報の働きに関心を持たせた上で、ニュース番組を視聴することにより、「放送局では、見る人にとって、情報を早く正確に分かりやすく伝えるためにどんなことをしているのだろう」という課題意識を持たせる。放送されるまでの仕事と放送中の仕事について調べ、追求していくことにより、放送局で働く人々は、互いに連携を取り合い、様々な工夫や努力をしているから、情報を早く正確に分かりやすく伝えることができることに気付かせていきたい。

## 3. 願う子どもの姿

毎日のくらしとテレビ放送とのかかわりの大きさに気付くとともに、写真や映像資料・俯瞰図・働く人々の話等の資料を活用して、放送局で働く人々が、互いに連携を取り合い、情報を速く・正確に・分かりやすく伝えるために、工夫や努力をしていることが分かる。

## 4. 研究内容との関わり

**研究内容 に関わって**(基礎・基本を確立するための、情報カリキュラムにのっとった単元指導計画の在り方)

実際に放送されたニュース番組を視聴することにより、人々に役立つ情報を送るために、放送局で働く人々がどんな工夫や努力をしているのか追究していくことができる。追究にあたっては、実際の放送局の映像を収めたデータベースを活用することにより、調べて考えることができる。

**研究内容 に関わって**(基礎・基本の力をつける学習活動の在り方)

映像資料を使って、実際に働く人の話を聞くことにより、人々の工夫や努力を実感することができる。また、資料をもとに話し合う力をつけるために、根拠となる資料は、プロジェクターを使って映し出し、全員が見やすくする。

**研究内容 に関わって**(基礎・基本の定着を図る自己評価の在り方)

一単位時間ごとにまとめを書き、分かったことや疑問になったことをはっきりさせる。そして、個人のまとめを蓄積し、振り返りができるようにして、既習内容を生かすようにする。

## 5. 単元指導計画

		ね ら い	主 な 学 習 活 動	自ら学ぶ姿の育成
第 一 次	1 2	・自分達は生活の中でどのように情報を選択し、生かしているのかに気付き、ニュース番組を視聴することにより、番組がどのようにしてつくり、放送されるのか調べる意欲を持つことができる。	・自分達が生活の中で、情報をどのように生かしているのかについて調べたことを発表し合う。 ・一つのニュース番組を視聴し、学習課題を作る。	ニュース番組を視聴することにより、番組のつくり方や放送の仕方を調べる追求意欲を持つことができる。
第 二 次	3 本 時 7	・ニュースを早く・正確に・分かりやすく伝えることができるのは、たくさんの人々が互いに協力し合い、様々な工夫や努力をしているからであると分かる。	・ニュースが放送されるまでの仕事を調べ、まとめる。 ・放送局のしくみについて調べ、まとめる。 ・アナウンサーの努力について調べ、まとめる。	働く人の話を聞くことにより、工夫や努力を実感することができる。
第 三 次	8	・より早く、正確に分かりやすい情報を伝えるために、放送局で働く人々が進めてきた努力に気付き、放送の送り手の工夫や努力に自分なりの意見をもつことができる。	・報道番組を支える技術の進歩を調べる。 ・番組制作のための費用の得方を調べる。 ・人気のある番組作りと報道番組作りの相違点を考え、放送局で働く人々の工夫や努力について自分なりの意見をまとめる。	ニュース番組の視聴により、衛星中継・地方局とのネットワークの意味を理解する。

6. 本時の目標 ( 7 / 8 )

アナウンサーが、周りの人々と協力し合い、自分で原稿を分かりやすく読む努力をしているのは、ニュースを正確に分かりやすく伝えるためであることが分かる。

7. 本時の評価規準

思考・判断	放送局で働く人々が、早く・正確に・分かりやすくニュースを伝えることができるのは、互いに協力し合って、様々な工夫や努力をしているからであると考えることができる。
-------	---

8. 本時の展開

段階	学 習 活 動	研究に関わって 資料 評価 支援
つ か む	<p>1. 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうして、アナウンサーは、時間内にニュースを正確に分かりやすく伝えることができるのだろうか。</p> </div>	
ふ	<p>2. 調べたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本番までに打ち合わせをして、原稿の内容に間違いがないか確認しているから、正確なニュースを伝えることができる。</li> <li>・自分で原稿を読む練習をしたり、映像と合わせて読む練習をしたりしているから、原稿を間違えずに読むことができる。</li> <li>・本番終了後に、反省会をしているから、その日の自分の話し方を振り返ることができる。</li> <li>・仕事が終わってからも自分で次の日の準備をしているから、落ち着いて話すことができる。</li> <li>・アナウンサーは、アクセント辞典やストップウォッチを持ち歩いているから、正しい発音で、時間内に読む練習ができる。</li> <li>・タイムキーパーが本番中に時間を知らせてくれるから、あわてないですむ。</li> <li>・スタジオには、原稿を映し出すプロンプターがあるから、前を見て話すことができる。</li> <li>・記者が取材したことを原稿にまとめる時に、誰にでも分かりやすい言葉になるように考えていたから、アナウンス原稿が分かりやすくなっている。</li> <li>・ビデオを編集する人が、原稿に合わせて必要な映像を選び出しているから、アナウンサーが映像と話を合わせて話すことができ、見る人にとって、分かりやすくなる。</li> </ul>	<p>映像資料、写真 児童が集めてきた資料 放送する人々が早く正確に分かりやすくニュースを伝えるためにしている工夫や努力を話すことができたか。 根拠となる資料を明らかにして話をさせる。</p>
か	<p>3. アナウンサーの話を聞き、考えを確かなものにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>原稿をいきなり声に出して読まない。自分自身が、話す内容を頭の中で理解するために、まずは声に出さないで目で読んでいます。原稿をそのまま読むのではなく、どうしたら分かりやすく伝わるのか考えて、デスクと相談して書き直すなど努力もしている。そして、できあがった原稿を何回も読んで練習し、しっかりと読めるようにしている。自分が伝えたニュースによって、人々の役に立てることにやりがいを感じる。</p> </div>	<p>アナウンサーの話(映像) アナウンサーは視聴者のことを考えて、話をしていることが分かったか。 アナウンサーの話を自分の考えと比べながら聞かせる。</p>
め		
る		
ま と め る	<p>4. 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アナウンサーは、ニュースを放送するまでに周りの人々と協力し、自分でも原稿の言葉がもっと分かりやすくないか考えたり、頭の中で内容をきちんと理解してから読む練習をしたりする努力をしているから、時間内に正確に分かりやすく話すことができる。</p> </div>	